

あなたのまわりには、どんな人々が住んでいるでしょうか？

性別、年齢、国籍、障害のある人など、多様な人々が住んでいます。
また、ペットを飼っている人も多いでしょう。



みんなが助かるためには、性別だけではなく、もっと多様な視点で今から準備する必要があります。
「女性の視点・多様な視点をいかした地域防災講座」でも、以下のような意見がありました。

外国人の人も地域で支援したいけど、言葉とか文化とか、よくわからない...

LGBTQの人たちの困り事、なんかあるんじゃないかな...

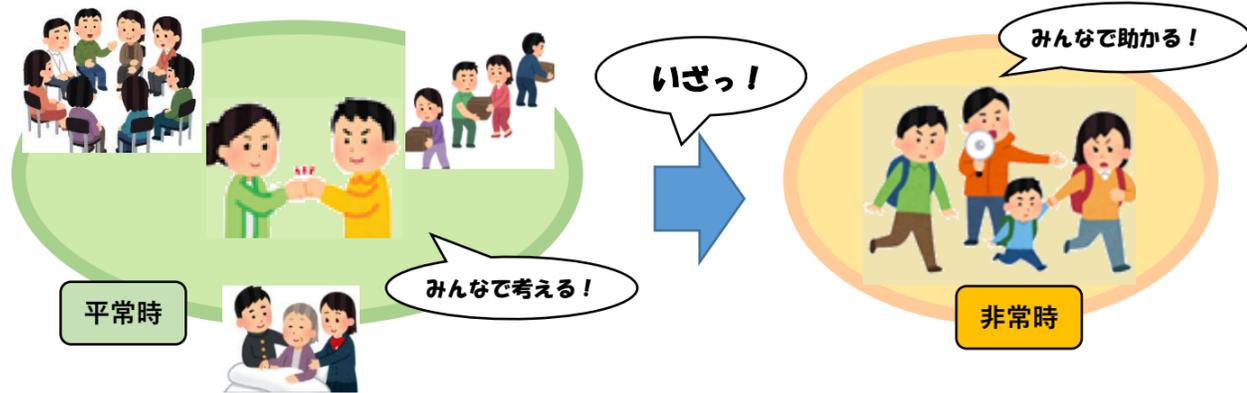
ペットといっしょに避難したい人もいるんじゃないかな

男性だって、しんどい事や困ってる事、あるはず

こどもだって、できることあるよね

あなたが気づいたことを書いてみましょう。

このような多様な困りごとを解決・軽減するためには、多様な人の経験やアイデアを出し合う必要があります。



ひとり一人の強みと弱みを支え合い、災害にも強いまちをつくらう！

みんなで考えよう

女性の視点・多様な視点をいかした地域防災

地震や台風、大雨など、大規模災害が毎年、各地で起こっています。

このコロナ禍であっても、自然災害は待ってくれません。

「いま災害が起こったら、みんなの命と心身の安全をどう守るのか」、「女性の視点・多様な視点をいかした地域防災講座」(令和3年度開催)に参加した女性たちが、「こんな視点があつたらいいな、こんなことからできるんじゃないか」をまとめました。

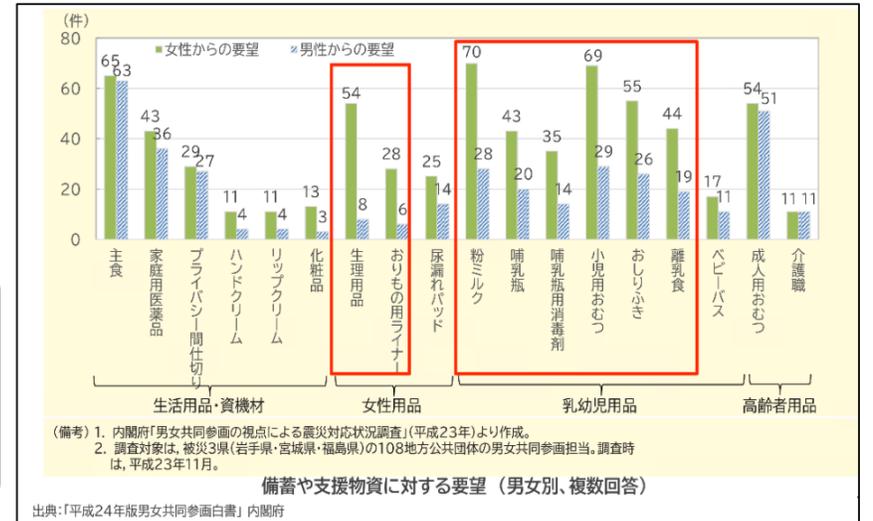
あなたとあなたのまわりのみなさんが、男女共同参画の視点を取り入れた地域防災を考えるためのひとつのアイテムとして活用できるよう、工夫して作成しました。
ぜひ、あなたのまわりの人で話し合いながら、活用してください。

過去の被災体験からわかってきたこと

●災害時には、女性と男性とでは支援ニーズが違う

東日本大震災のとき、生理用品やオムツなどの支援物資を要望する声が女性や子育て家庭から多く寄せられたんだって。

避難所でも、プライバシーの確保やトイレの数などの困り事も女性からあがったんだって。避難所の運営を担っているのが男性だったから気づけなかったのかな。女性も運営に加わる必要があるね。



●性別を理由とした役割分担からくる問題



このように、災害時、人々はさまざまな困難に直面しますが、女性と男性とでは異なる困難や影響があります。特に、**災害時には平常時における社会の課題があらわ**になります。これらの困難や影響を最小限にし、被災しても、みんなが安全・安心に暮らせるまちにするためにはどうしたらいいでしょうか。

STEP1
災害時、あなた自身やあなたのまわりで、どんな、性別による困難や影響が起こるか(起こりそうか)を考えてみましょう。

「女性の視点・多様な視点をいかした地域防災講座」では、こんな意見が出ました

重いものが倒れたらひとりで直せない・・・

共働きて、保育所や学校が休みになったらどうしよう？

避難所でお風呂入れないから、髪洗えないし、化粧できないかも。

子どものミルクやおむつとか、必要なものが手にはいるかな？

ご近所さんが安全かどうか確かめたいけど、付き合いがあんまりないから・・・

家族(高齢者や子ども)を連れて避難所に行っていけるか不安

避難所までひとりで連れていけるか不安

避難所でプライバシー確保できる？

避難所で、夜やトイレでの性被害が怖い・・・

あなたの意見を書いてみましょう

STEP1で出た意見をあなたのまわりの人で話し合ってみましょう。同じ意見があれば、違う意見もあるのではないのでしょうか。同じような意見については、多くの女性がかかるであろう困難であると言えるかもしれません。その一方で、「女性」といっても、置かれている立場や状況で、困難や解決策は異なるということもあります。それらの困難を解決・軽減するために、あなたは、なにができるでしょうか。

私と小鳥と鈴と 金子みすゞ

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地面を速くは走れない。

私がかたをゆすっても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように、たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。

「ちがう」ことが強みになる？

私たちは、それぞれ違った経験や考えをもっています。

それらが集まるとハレーションを起こすこともあるかもしれませんが、その一方で、今までなかった何かが生まれるチャンスでもあります。

誰かの困り事をあなたが助けることができるかもしれません。

あなたの困りごとを誰かが助けてくれるかもしれません。

「みんなちがって、みんないい」

STEP2
あなた自身やあなたのまわりで起こる(起こりそう)な困難や影響に対して、あなたは何ができるでしょうか。あなたの強みを考えてみましょう。

「女性の視点・多様な視点をいかした地域防災講座」では、こんな意見が出ました

生活者の視点がある
・介護や育児の経験がある
・子どもの扱いに慣れている
・人をケアすることに慣れている

地域のことを知っている・情報発信が得意
・ご近所さんのことをよく知っている
・ママ友ネットワークがある
・おしゃべりが得意
・口コミに自信あり

私だから気づいたことがある
・性暴力やセクハラがあるかも
・着替えや授乳への配慮
・安全安心のトイレの必要性

女性リーダー講座で学んだ知識がある
・トイレの配慮はまかせて
・女性の視点を考えることができる



あなたの強みを記入してみましょう。そして、その強みを活かしてどんなことができるか記入してみましょう

STEP1で出てきた困難や解決について、STEP2でみつけたあなたの強みを活かしてみましょう。きっと活かせるところがあるはず。ひとりひとりの強みは小さくても、たくさんのいろんな強みが合わさって災害に強いまち・みんなが助かるまちがつけられます！ 平常時にできないことは、災害時にはなおのことできません。普段から、男女共同参画の視点・多様な視点で準備をしておくことが大切です。

STEP3
あなたと、あなたのまわりの防災力を高めるために、みんなでできることを考えてみましょう。

「女性の視点・多様な視点をいかした地域防災講座」では、こんな意見が出ました

女性たちがつながる・エンパワメントする
・女性の横のつながりを日ごろからつくる
・女性自らが自分たちのできることを積極的に声をあげていく

まわりの人や地域の人とつながる・対話する
・多様な視点の防災を男性もいっしょに考えてみる
・このリーフレットを地域の人といっしょに書いてみる
・みんなの強みをみんなで再発見する
・地域の防災マニュアルづくりに女性も参加する

※エンパワメントとは・・・
一人ひとりが本来持っている力を発揮し、自らの意思決定により自ら行動できるようにしていくこと。



あなたと、あなたのまわりで準備できること・準備できそうなことを記入してみましょう